

S I D R

滋賀県感染症情報

SHIGA Infectious Diseases Report

《週報》

第 7 巻第 7 号

第 7 週(2月12日 ~ 2月18日)

発行年月日:平成19年(2007年) 2月22日

発行 :滋賀県衛生科学センター内
滋賀県感染症情報センター

電話 077-537-7438 FAX 077-537-5548

今週の感染症発生動向

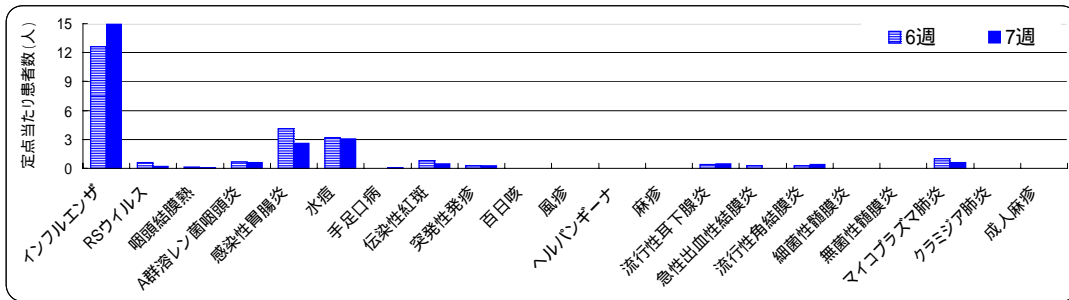
インフルエンザの発生は先週に引き続き増加(注意報発令中!)

定点把握の対象となる五類感染症の発生状況は、平成19年第6週(2月5日~2月11日)の報告数よりやや多くなっています。今週、増加した疾患はインフルエンザ、手足口病および流行性耳下腺炎です。減少した疾患は感染性胃腸炎、水痘、伝染性紅斑(リンゴ病)等です(詳細については、疾病別定点当たり患者数のグラフ参照)。

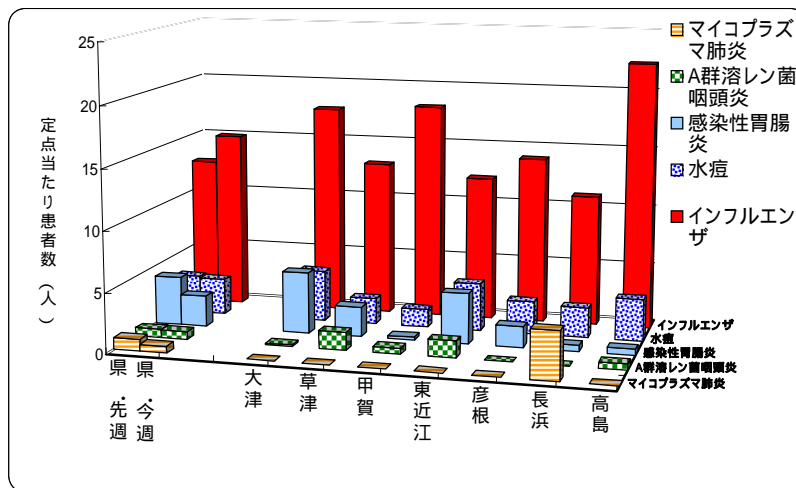
「感染症発生動向調査に基づく感染症の警報・注意報システム」によると水痘に警報(東近江)および注意報(大津)が、伝染性紅斑(リンゴ病)に警報(高島)が発生しています。また、インフルエンザに注意報(県下全域)が発生しています。

今週は全数把握対象疾患の届出はありませんでした。

定点把握の対象となる五類感染症の疾患別発生状況(前週との比較、定点当たり患者数)



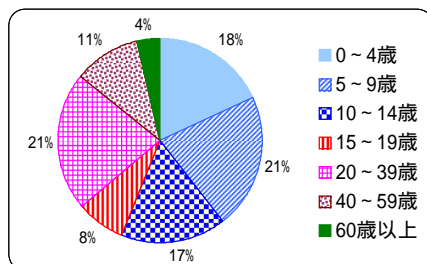
上位5疾患の発生状況(定点把握対象五類感染症、第7週、定点当たり患者数)



県全体における上位疾患の発生状況についてはグラフに示すとおり、インフルエンザ、水痘、感染性胃腸炎、A群溶レン菌咽頭炎、マイコプラズマ肺炎の順に多くなっています。

インフルエンザは先週に引き続き増加し、特に高島で急増しています。水痘は大津で急増し、感染性胃腸炎は大津および東近江で多くなっています。

インフルエンザの年齢別発生割合(第1~7週、1/1~2/18)



第1~7週における年齢別発生割合は、0~4歳 18%、5~9歳 21%、10~14歳 17%、15~19歳 8%、20~39歳 21%、40~59歳 11%、60歳以上 4%となっています。

昨年の同時期の年齢別発生割合は、0~4歳 23%、5~9歳 28%、10~14歳 12%、15~19歳 5%、20~39歳 20%、40~59歳 8%、60歳以上 4%となっており、今年は0~4歳および5~9歳の割合が低くなり10~14歳および15~19歳の割合が高くなっています。また、全国においても同様の傾向を示しています。

警報・注意報発生状況

水痘の警報・注意報発生状況(平成18年第49週～平成19年第7週)

週	滋賀県	大津保健所	草津保健所	甲賀保健所	東近江保健所	彦根保健所	長浜保健所	高島保健所
	定点当たり患者数	定点当たり患者数	定点当たり患者数	定点当たり患者数	定点当たり患者数	定点当たり患者数	定点当たり患者数	定点当たり患者数
49週	2.47	1.43	0.17	1.00	6.80	5.50	1.50	1.00
50週	3.66	1.00	0.83	1.75	9.80	6.75	4.25	2.50
51週	3.13	1.14	0.33	2.00	10.20	3.75	2.50	3.00
52週	4.25	3.71	1.50	0.50	8.60	10.25	2.50	2.50
1週	3.78	3.86	1.50	6.25	8.00	4.75	0.25	0
2週	2.91	1.86	1.50	0.75	7.60	4.50	1.75	2.50
3週	3.13	1.43	3.33	2.50	7.40	4.25	1.00	1.00
4週	2.41	1.71	2.83	0.75	4.20	2.75	2.25	2.00
5週	2.34	2.29	2.50	1.00	4.60	2.75	1.00	1.00
6週	3.19	1.29	3.00	2.50	6.20	2.00	5.00	3.00
7週	3.03	4.29	2.17	1.50	4.00	2.75	2.50	3.50

■ 警報発生中 ■ 注意報発生中 警報発生基準値：定点当たり患者数が7人以上という基準値を超えた時に出され、それ以降、定点当たり患者数が4人未満になるまで継続して出されます。
 注意報発生基準値：定点当たり患者数が4人以上という基準値を超えた時に出され

伝染性紅斑の警報発生状況(平成18年第49週～平成19年第7週)

週	滋賀県	大津保健所	草津保健所	甲賀保健所	東近江保健所	彦根保健所	長浜保健所	高島保健所
	定点当たり患者数	定点当たり患者数	定点当たり患者数	定点当たり患者数	定点当たり患者数	定点当たり患者数	定点当たり患者数	定点当たり患者数
49週	0.75	0.29	0.67	0.25	0.60	2.75	0	1.50
50週	0.47	0.29	0.33	0	0.20	2.25	0	0.50
51週	0.47	0.14	0.17	0	0.80	0.75	0	3.00
52週	0.59	0.14	0.33	0	0.80	1.50	0	3.00
1週	0.72	0.57	0.67	0	1.20	1.25	0	2.00
2週	0.56	0.43	0.50	0.50	1.00	0.50	0.25	1.00
3週	0.78	0.14	0.50	0.25	1.20	2.00	0.25	2.50
4週	0.81	0.14	0.50	0.50	1.80	1.00	0.25	3.00
5週	0.56	0	1.00	0.25	0.60	1.25	0.25	1.00
6週	0.81	0.14	0.17	0.25	1.40	2.25	0.25	3.00
7週	0.47	0	0.83	0.25	0.20	0.50	0.50	2.00

■ 警報発生中 警報発生基準値：定点当たり患者数が2人以上という基準値を超えた時に出され、それ以降、定点当たり患者数が1人未満になるまで継続して出されます。

インフルエンザの注意報発生状況(平成19年第6～7週)

週	滋賀県	大津保健所	草津保健所	甲賀保健所	東近江保健所	彦根保健所	長浜保健所	高島保健所
	定点当たり患者数	定点当たり患者数	定点当たり患者数	定点当たり患者数	定点当たり患者数	定点当たり患者数	定点当たり患者数	定点当たり患者数
6週	12.58	16.00	12.90	13.43	8.00	12.14	12.00	11.67
7週	14.91	17.64	13.00	18.14	12.13	14.00	11.00	22.33

■ 注意報発生中 注意報発生基準値：定点当たり患者数が10人以上という基準値を超えた時に出されます。

<<感染症発生動向調査に基づく流行の警報・注意報システム>>

感染症発生動向調査に基づく流行の警報・注意報システム(厚生労働科学研究事業)では過去5年間の患者発生状況をもとに疾患ごとに警報レベルおよび注意報レベルの基準値を設定しています。その基準値を超えた時に流行発生警報あるいは流行発生注意報という表現により流行状況の指標を示しているもので、都道府県として発令される「警報」、「注意報」とは異なります。

流行発生警報

流行発生警報という表現により大きな流行が発生した、または発生している可能性があるという情報を提供しています。

流行発生注意報

流行発生注意報という表現により今後4週間以内に大きな流行が発生する可能性がある、または現在も流行が継続している可能性があるという情報を提供しています。

1) 全数報告の感染症(一類～五類)

滋賀県内の医療機関において、医師が感染症法で定められている一～四類および五類感染症に該当する患者を診断したとき医師は保健所に届出ることになっています。このことを全数報告といいます。届出により、滋賀県内で発生している感染症法で定められた一～四類および五類感染症を把握することができます。

感染症類型	疾患名	報告数 (7週)	累積報告数		平成18年報告数	
			滋賀 (7週)	全国 (7週)	滋賀	全国 ^{(*)1}
一類感染症	報告なし	0	0	0	0	0
二類感染症	コレラ	0	0	2	1	47
	細菌性赤痢	0	0	77	6 ^{(*)2}	483
三類感染症	腸チフス	0	0	3	0	72
	腸管出血性大腸菌感染症	0	0	95	54	3,910
四類感染症	E型肝炎	0	0	5	2	70
	A型肝炎	0	0	26	21	316
	オウム病	0	0	1	0	22
	デング熱	0	0	4	0	57
	マラリア	0	0	2	0	61
	レジオネラ症	0	1	47	11	508
五類感染症	アメーバ赤痢	0	1	88	8	738
	ウイルス性肝炎	0	0	22	0	275
	クロイツフェルト・ヤコブ病	0	1	16	0	177
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	0	0	18	6	107
	後天性免疫不全症候群	0	0	156	8	1,301
	ジアルジア症	0	0	4	1	87
	梅毒	0	0	51	4	625
	破傷風	0	0	4	1	115
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	0	0	12	0	79
	急性脳炎	0	0	22	1	160

*1:平成17年報告数の全国報告数は、滋賀県で報告された疾患を対象としています。
*2:検疫法第26条の3に基づく検疫所長から滋賀県知事への通知分2件を含みます。

全国における全数報告感染症の発生状況 - 第7週(2/12～2/18) -

一類感染症: 報告なし	四類感染症: E型肝炎 1例	五類感染症: クロイツフェルト・ヤコブ病 1例
二類感染症: 細菌性赤痢 6例	A型肝炎 4例	後天性免疫不全症候群 14例
パラチフス 1例	レジオネラ症 5例	劇症型溶血性
三類感染症: 腸管出血性	五類感染症: アメーバ赤痢 6例	レンサ球菌感染症 1例
大腸菌感染症 11例	ウイルス性肝炎 1例	急性脳炎 1例
四類感染症: つつが虫病 1例	梅毒 5例	

2) 定点把握の対象となる五類感染症

感染症発生動向調査事業に係る報告のために、滋賀県が指定した「指定届出機関」を定点医療機関(定点)といい、その定点から報告される感染症です。また、定点当たり患者数とは、一週間を単位として一カ所の定点から何人の患者が報告されているかを示したものです(患者報告数/定点医療機関数)。

例えば、一つの疾患(インフルエンザ等)について、一週間に53カ所の定点*から総数53人の報告があれば、定点当たり患者数は1.00となります。*疾患により定点数は異なります。

(1) 疾病別・週別発生状況(平成19年第2～7週、1/8～2/18)

疾患名	定点当たり患者数 (前週より増加 前週と同じ 前週より減少)						
	2週 (1/8～)	3週 (1/15～)	4週 (1/22～)	5週 (1/29～)	6週 (2/5～)	7週 (2/12～)	3 4 5 6 7
インフルエンザ	1.11	2.04	4.42	6.23	12.58	14.91	
RSウイルス感染症	0.31	0.53	0.59	0.97	0.59	0.19	
咽頭結膜熱	0.13	0.34	0.19	0.19	0.13	0.06	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.75	1.00	0.81	0.75	0.69	0.63	
感染性胃腸炎	5.13	3.81	4.06	3.28	4.09	2.59	
水痘	2.91	3.13	2.41	2.34	3.19	3.03	
手足口病	0.13	0.13	0.06	0.03	0.03	0.06	
伝染性紅斑(リンゴ病)	0.56	0.78	0.81	0.56	0.81	0.47	
突発性発しん	0.28	0.56	0.19	0.38	0.25	0.25	
百日咳	0	0	0	0.03	0	0	
風しん(三日はしか)	0	0	0	0	0	0	
ヘルパンギーナ	0	0	0	0	0	0	
麻しん(成人麻しんを除く)	0	0	0	0	0	0	
流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	0.47	0.41	0.19	0.19	0.38	0.44	
急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0.29	0	
流行性角結膜炎	0.43	0.29	0.57	0	0.29	0.43	
細菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	
無菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	
マイコプラズマ肺炎	0.57	0.43	0.57	0.43	1.00	0.57	
クラミジア肺炎(オウム病を除く)	0	0	0	0	0	0	
成人麻しん	0	0	0	0	0	0	

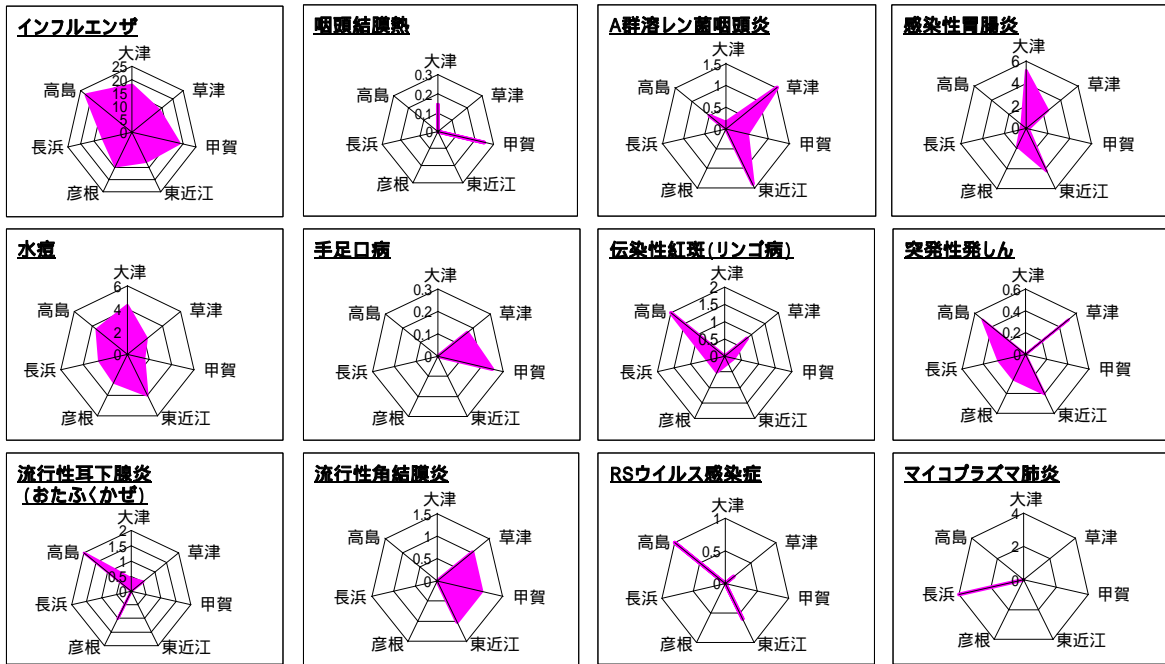
(2)疾病別・保健所管内別発生状況(第7週、2/12~2/18)

疾患名	定点当たり患者数(県・保健所管内別)								疾病別発生状況(県全体)			
	県	大津	草津	甲賀	東近江	彦根	長浜	高島				
インフルエンザ	14.91	17.64	13.00	18.14	12.13	14.00	11.00	22.33				
RSウイルス感染症	0.19	0	0.17	0	0.60	0	0	1.00				
咽頭結膜熱	0.06	0.14	0	0.25	0	0	0	0				
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.63	0.14	1.50	0.50	1.40	0	0	0.50				
感染性胃腸炎	2.59	5.14	2.50	0.25	4.20	1.75	0.50	0.50				
水痘	3.03	4.29	2.17	1.50	4.00	2.75	2.50	3.50				
手足口病	0.06	0	0.17	0.25	0	0	0	0				
伝染性紅斑(リンゴ病)	0.47	0	0.83	0.25	0.20	0.50	0.50	2.00				
突発性発しん	0.25	0	0.50	0	0.40	0.25	0.25	0.50				
百日咳	0	0	0	0	0	0	0	0				
風しん(三日はしか)	0	0	0	0	0	0	0	0				
ヘルパンギーナ	0	0	0	0	0	0	0	0				
麻しん(成人麻しんを除く)	0	0	0	0	0	0	0	0				
流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	0.44	0.43	0.50	0	0	1.00	0	2.00				
急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0				
流行性角結膜炎	0.43	0	1.00	1.00	1.00	0	0	0				
細菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0				
無菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0				
マイコプラズマ肺炎	0.57	0	0	0	0	0	4.00	0				
クラミジア肺炎(オウム病を除く)	0	0	0	0	0	0	0	0				
成人麻しん	0	0	0	0	0	0	0	0				

■ は定点当たり患者数が先週より増加
 ■ は警報発生中
 ■ は注意報発生中

0 3 6 9 12 15
定点当たり患者数(人)

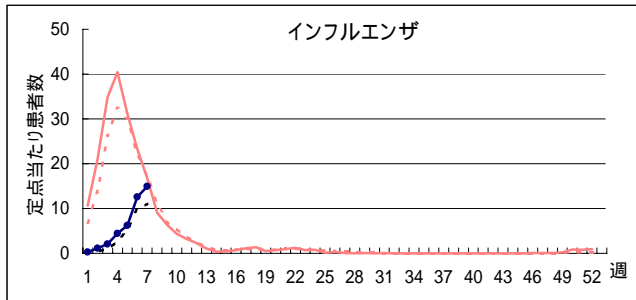
疾患別・保健所管内別発生状況(定点当たり患者数)



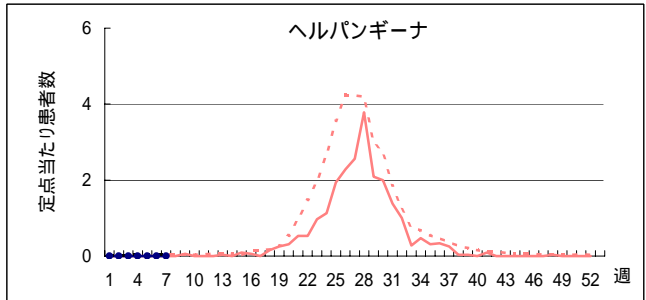
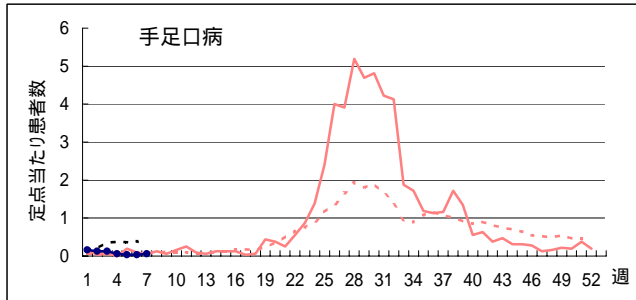
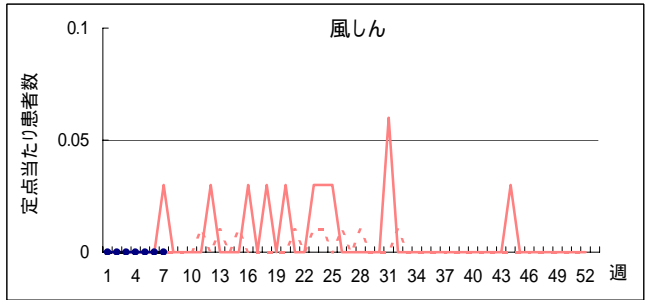
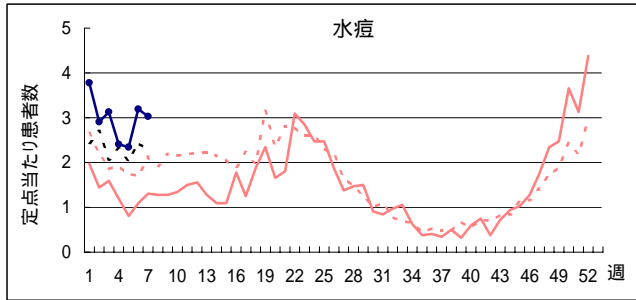
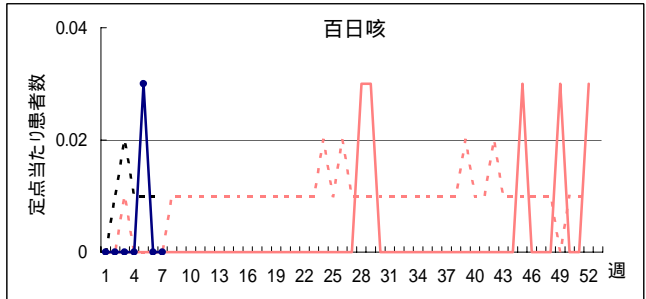
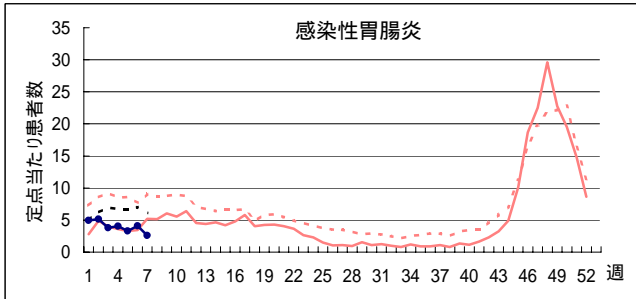
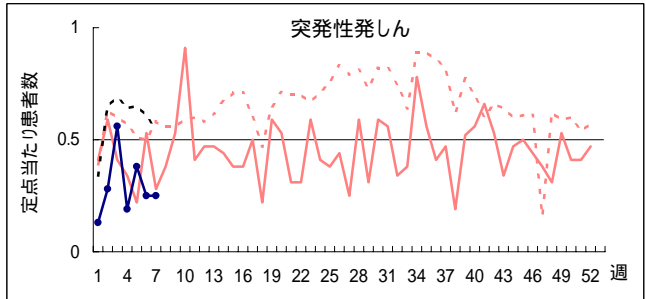
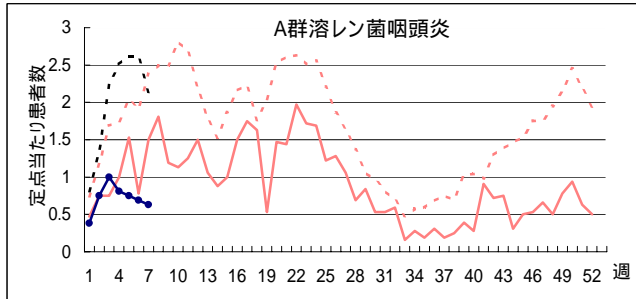
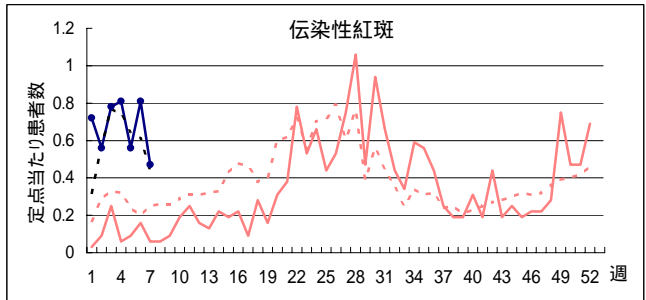
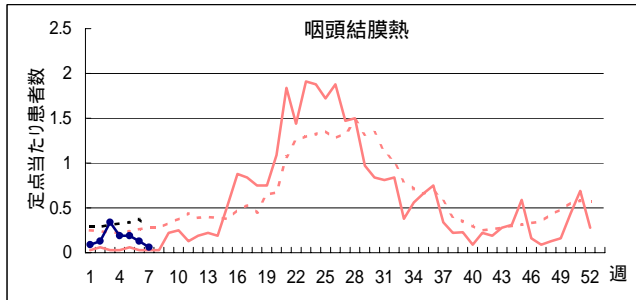
今週の発生状況：保健所管内別定点当たり患者数

- インフルエンザ-----県全体では先週よりさらに増加し、先週に引き続き注意報が出されています。特に、高島における定点当たり患者数は22.33と非常に多くなっています。
- 咽頭結膜熱-----大津および甲賀から報告されていますが、県全体では先週より減少しています。
- A群溶血性レンサ球菌咽頭炎----大津および草津で先週より減少し、甲賀および東近江で先週より増加しています。
- 感染性胃腸炎-----県全体では先週よりかなり減少していますが、大津では先週より増加しています。
- 水痘-----大津、彦根および高島で先週より増加し、東近江で警報が、大津で注意報が出されています。
- 手足口病-----草津および甲賀から報告されています。
- 伝染性紅斑-----高島では先週より減少していますが、引き続き警報が出されています。
- 突発性発しん-----県全体では先週とほぼ同様の発生状況です。
- 流行性耳下腺炎-----彦根および高島で先週より増加しています。
- 流行性角結膜炎-----草津、甲賀および東近江から報告されています。
- RSウイルス感染症-----東近江および高島で先週よりかなり減少しています。
- マイコプラズマ肺炎-----長浜から報告されていますが、先週よりかなり減少しています。

疾病別定点当たり患者数(平成19年第1週～第7週、H19.1.1～H19.2.18)



H18 { 滋賀 ————
 全国 - - - - -
 H19 { 滋賀 ●●●●●
 全国 - - - - -



疾病別定点当たり患者数(平成19年第1週～第7週、H19.1.1～H19.2.18)

H18
 〔 滋賀 ————
 全国 - - - - -

H19
 〔 滋賀 ●—●—●—
 全国 - - - - -

